

2020(令和2)年度 第3弾 就活クエスト in OSAKA(おおさか就 Que) 実施報告

事業趣旨:

コロナ禍の影響により、実地を伴うインターンシップ事業が一律中止となったなか、Zoom や Slack といったオンラインツールを活用した新しい形のプログラムを試行する。

オンラインの特性を生かし、在阪企業(団体)の様々な業界で活躍する人々と学生との出会いの場を設け、その業界について学び、また新しいビジネスアイデアを共に考えることを通じて、学生の業界に対する関心や就業意識を高めることを目的とする。

テーマ: 「モノを売るということ」

実施日: 2020(令和2)年 10月3日(土)~11月20日(金)

※うち1か月間は Slack を用いたグループワークを実施

実施場所: オンライン((Zoom 及び Slack にて))

講師: 株式会社ヒツカンパニー 執行役員 上地 正和氏 人材開発部 北野 真実氏

※プログラム実施にあたり、従来のインターンシップ受入先に協力を仰ぎ、講師派遣を依頼。

ファシリテーター: 千里金蘭大学 キャリアセンター 坂口 直之氏

(大学コンソーシアム大阪 インターンシップ部会 推進委員)

参加学生数: 5大学 15名

(大学別) 大阪学院大学 4名/大阪女学院大学 3名/近畿大学 6名/四天王寺大学 1名

相愛大学 1名

企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 インターンシップ部会 推進委員会

プログラム概要:

日程・場所	プログラム	内容
10月3日(土) 10:00~12:00 Zoom にて	オンラインミーティング (キックオフ)	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの趣旨説明 ・ミッション発表:「モノを売る」の極意をつかみ取れ! カラフルわたあめでタピオカを超えろ!! ・株式会社ヒツカンパニー 上地氏によるミニ講演 ・グループ討議×3回 <ol style="list-style-type: none"> 1.講演を聞いた感想について 2.一か月間(Slack ワーク)での目標について 3.どんな手段でミッションを達成するか? ・講評&クロージング
10月6日(火)~ 11月6日(金)	Slack ワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループでミッションに基づき検討、プランに関する PPT 作成 →学生提案について、ヒツカンパニーにてプランの採用可否について検討
11月20日(金) 18:00~20:00 Zoom にて	オンラインミーティング (フィードバック会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒツカンパニーによる検討結果のフィードバック ・フィードバックを受けた検討(学生によるグループ討議) ・まとめ

オンラインミーティングの様子：



参加者アンケート：

別紙のとおり

おおさか就活クエスト 第3弾 参加者アンケート

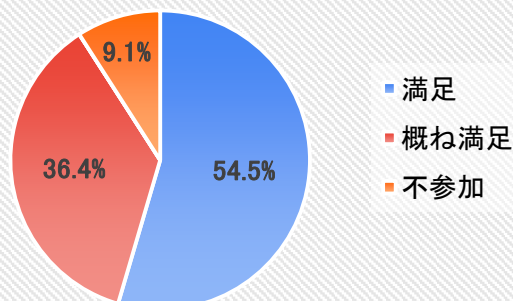
参加者数 5大学15名 (うち 回答者数 11名)

I. オンラインミーティングについて

1. 満足度

満足	6
概ね満足	4
満足できない点があった	0
不満	0
不参加	1

満足度 (オンラインミーティング)



2. 満足度の理由

「満足」と回答

- ・こういった長いスパンで行うインターンは初めてだから。
- ・時間が短い中でしたが、わかりやすく、課題に取り組みやすかった。
- ・1ヶ月間という長期的な課題解決プログラムに参加したことがなく、非常に学ぶことが多かったです。
- ・グループディスカッションの際は、回数を重ねるごとに会話が盛り上がった感じがしました。自分が考えもしなかった意見が出てきて新しい発見ができました。
- ・ヒッツカンパニー様についても、物を売るという仕事についても知ることでよかったと思ったからです。

「概ね満足」と回答

- ・オンラインだからこそ、参加の敷居が低かったです。
- ・話し合いの時間が短く、話し切れなかった。
- ・限られた時間の中、話の深掘りを進めていくことが難しかったため。
- ・わたあめ企画自体は非常に楽しませてもらったのですが、やはりオンラインだと少し発言しづらい部分があったので、納得のいく成果物を制作することができなかったのが心残りです。

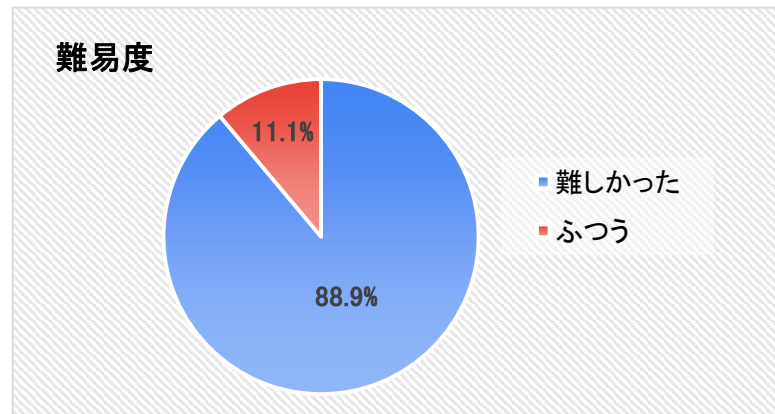
3. オンラインミーティングについての感想など(自由記述)

- ・説明も分かりやすく、メンバーとも少し交流を深められ警戒心等を無くすことができ良かったです。
- ・今回初めてオンラインミーティングをしたが思っていたより楽しかった。
- ・企業説明の際の説明が少し早かったように思いました。後のグループワークでも他のメンバーが同じ事を言っていたので、もう少しゆっくり説明していただけたら、より理解が深まったと思います。

II.Slackワークについて

1.ワークの難易度

難しかった	6
ふつう	5
簡単だった	0



2.難易度の理由

「難しかった」と回答

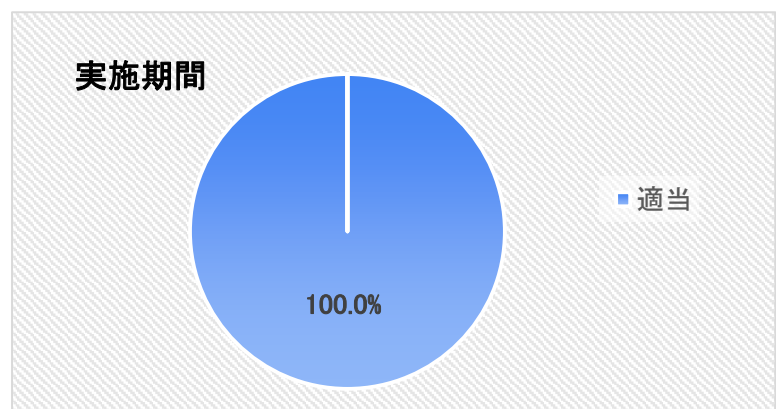
- ・文字だけで伝えるのはわかりにくいし、タイミングがごちゃごちゃして難しかった。
- ・チャット上ということもあって少し他人任せになってしまったのか1つの議論を進めるのに3日かかることもありました。最初は結論に至るのかと思いましたが、定期的に集合して議論する時間を設けることで円滑に進め、無事結論に行き着くことができました。
- ・slackをほとんど利用しなかった。
- ・文章だけで自分の意見を伝えるのが難しかったです。対面で会話する分には問題ない言葉遣いでも、文章ではあまりよくない印象を与えてしまうのではないかと、言葉遣いに気をつけることも難しかったです。
- ・最初の顔合わせがオンラインで、あまりお互いを知る事が出来ていない状況で、文字だけのコミュニケーションツールを使って進行しなければならないのが難しかったからです。
- ・Slackだと話し合いがやりづらいと思ったので、ミーティングは全てZoomで行いました。

「ふつう」と回答

- ・自分の単純なミスが目立ち周りに迷惑をかけたことが多ただけで課題自体に困難だとは思わなかったから。
- ・わからないことがあっても調べれば解決できたので、難易度は普通だと思います。
- ・難しい部分も容易な部分もありました。
- ・文字でのやりとりだったので話題の移り変わりが流れやすかった。
- ・文章で熱意を持って伝えていくことが難しかったです。

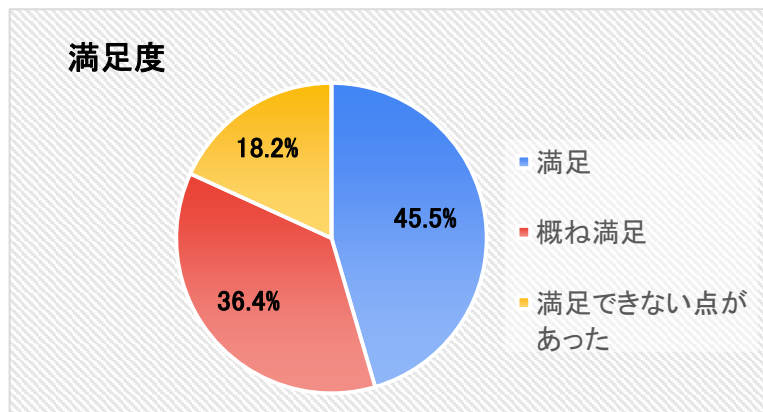
3.Slackワークの実施期間の長さについて

適当	11
長い	0
短い	0



5.ワークの満足度

満足	5
概ね満足	4
満足できない点があった	2
不満	0



6.満足度の理由

「満足」と回答

- ・今後仕事で利用するかもしれないツールをこの機会に知ることができて良かったから。
- ・商品売るために大事なことだったり、1ヶ月の中でチームで話し合っという機会はあまりないと思うので、とても良い経験になりました。
- ・今まで実施したことのない形式でどうすればいいのかわからない場面がありましたが、必ずこういった形式で会議などする機会があると思うので、非常に吸収することが多かったです。
- ・Slackにリアクション機能があったので、誰が読んでくれているのかを知る事が出来たのが良かったからです。

「概ね満足」と回答

- ・反応がボタンで返せるのが気軽に良かったです。ただ、議論は文字よりも顔を合わせたほうが効率が良さそうに感じました。
- ・zoomを利用したから。
- ・LINEなどよりは話し合いがしやすいと思ったが、議題の移り変わる場所にラインを引ければなお良いと思った。
- ・あまり参加できなかったため、チームにみんなに迷惑をかけたから。

「満足できない点があった」と回答

- ・なかなかワークが進まない期間があったり、指定した時間に議論する日数も少なかったため、こちらの日数をもう少し増やせればよかったなと思いました。
- ・LINEなどSNSを頻繁にしないので、Slack上でグループワークをすることに抵抗がありました。

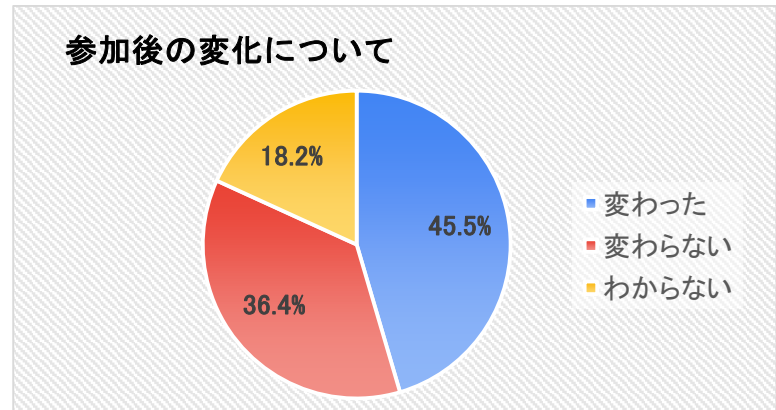
7.Slackワークについての感想、意見など

- ・他のチームのように実際に集まって店舗に行く等、様々な方法があったことに気づきました。また、Slackは反応等も気軽にできるので便利だと感じました。
- ・やはり文字での話し合いはとても難しいと思いました。私たちのグループは、主にZOOMを使って話し合いをしていたので、もう少し積極的に使っていれば良かったと思います。ですが、今回のワークを通して、難しさを実感出来たので次に活かせる良い経験になったと思います。

Ⅲ. プログラム全体について

1. 今回のプログラムによる就職活動や進路選択の考え方の変化

変わった	5
変わらない	4
わからない	2



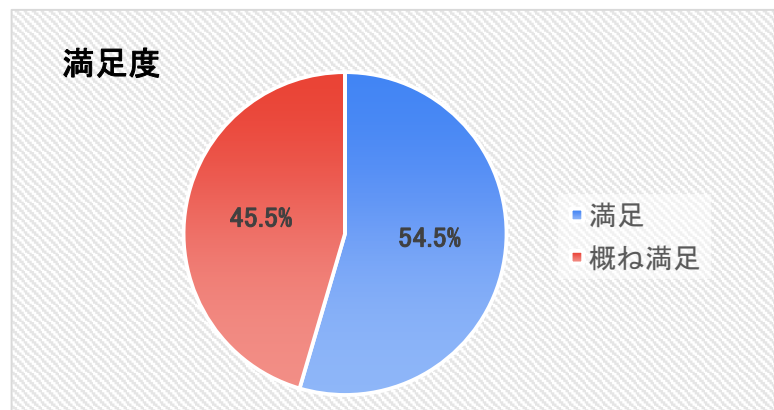
2. 上記と答えた理由(具体的に)

「変わった」と回答

- ・1つの課題に対して話し合って商品や販売方法などを決める「企画」、「マーケティング」に興味を持ちました。
- ・売上を上げるための施策は色々思いつくのですが、そこからコストなど現実的な面を絡み合わせて考えることが無かったので、今回のプログラムでその点の考え方が変わりました。これからは、コスト面も意識して考えるようにします。
- ・営業へのイメージが少し明るくなりました。
- ・就職活動は堅苦しいイメージだったが自分なりに楽しみながらすれば良いのだと気づけた。
- ・営業職だけでなく、マーケティングにも興味を持てたから。

3. 企業との交流の満足度

満足	6
概ね満足	5
満足できない点があった	0
不満	0



4. 上記のように答えた理由

「満足」と回答

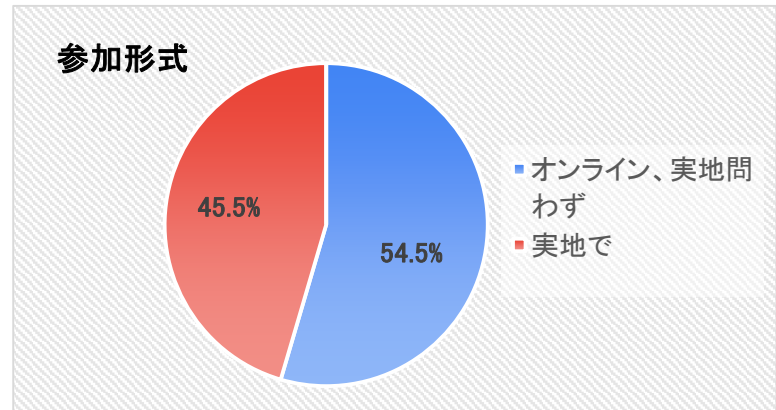
- ・どのように企業が就活生を見ているのかを直に知ることができたから。
- ・私達の質問に対してやフィードバックに真剣に取り組んでいただいて、ありがたく、私達のために行ってくれたことが嬉しかったからです。
- ・ヒツカンパニー様は気さくで明るく、情報提供もしてくれて非常に進めやすかったです。上地様と何度か面談させていただきましたが、議論の進め方についてや、案の考え方等をアドバイスしていただき、これからの社会人生活でも活かせることを学ばせていただきました。
- ・企業の方々が丁寧に教えてくれた。
- ・こちらの質問に真摯に答えて頂けたのでストレス無く交流できたと思うから。
- ・プロジェクトのリーダーとしてリモートでどのようにメンバーを引っ張って行けば良いかたくさんアドバイスをいただきました。

「概ね満足」と回答

- ・コスト面の大切さをよく知ることができました。また、営業へのイメージが明るくなりました。
- ・営業職について少しは知識を得られたかなと思うので、よかったです。
- ・質問した事に丁寧に答えていただいていたからです。文字だけでは伝わらず、うまく噛み合わないと思ったこともあり、やはり対面で直接お話ししたいと感じた事も何度かありましたが、自分の質問力・文章力を見直すきっかけになりました。

5. 今後希望する参加形式

オンライン、実地問わず	6
実地で	5
オンライン	0



6. 上記と回答した理由

「オンライン、実地問わず」と回答

- ・企業と長期間関わるプログラムは、その企業の色が出たユニークなものが多いと思ったから。
- ・1つの課題に対してチームで取り組む機会はあまりないので、こういったイベントで就活の勉強もしつつ取り組みたいと思いました。
- ・このように話し合う機会を多く経験したいため。
- ・オンライン、実地開催に関わらず自分なりに全力で参加出来ると思うから。
- ・オンラインで今回悩んだ事を次に活かしてもっと改善していきたいと思ったと同時に、対面でのコミュニケーションの大切さがわかったので、対面でも参加したいと思いました。

「実地で」と回答

- ・直接顔を合わせて話し合うことのやりやすさを実感したからです。
- ・オンラインは難しいと感じた。
- ・よりいい内容を作れると思ったから。
- ・オンラインでのイベント実施が多くなってきていて、実地開催のイベントが少なくなっているように感じます。実際に自分の目で見て得られるものもあると思うので、実地開催に是非参加したいです。
- ・リモートでプロジェクトを行うことに難しさを感じたので、1度対面で同じようなプロジェクトをやりたいです。

7.今後、テーマとして取り上げてほしい業界や職種

医薬品、製薬

貿易関係

マスコミ・テレビ業界

人材開発や人材育成業

バイヤー、商品企画

8.その他、プログラム全体についての感想や意見など

・この1ヶ月間は私にとって楽しく、自分のためになる時間でした。ありがとうございました。

・経験したことのないプログラムで、就活や社会人になっても活かせる体験となりました。自身の客観的な目線での考え方について成長を感じました。1ヶ月間ありがとうございました。

・成果物の製作を1人に任せると、負担の量の差が大きく、不満を感じた。

・今回のプログラムで、普段はあまり機会のない他大学の学生との交流や、企業様との交流が出来て、私にとって大きな経験となりました。また、今回学んだオンラインや文字だけのコミュニケーションの取り方は、これから就職した後も必要になる知識だと思うので活かしていきたいと思います。

・リモートでありながらこのような貴重な経験の場を設けてくださりありがとうございました。メンバーと切磋琢磨しながら、1つの成果物を作ることは社会に出ると当たり前になってくるので、ここで得たリーダーに必要な力を活かしてこれからも精進していきます。